

明治前期の大谷派教団

龍谷叢書44

なかにしなおき

中西直樹編著 ▼A5判上製カバー・二五二頁・本体二、八〇〇円十税

2018年6月刊行



明治初期の大谷派宗政の全体像を概観する史料の翻刻と解説を収録。
明治中期以降に関心が集中する大谷派教団史研究に一石を投じる一冊。

【目次】

はじめに

第一部 明治期大谷派の宗政史概説

解説

- (1) 宗史編修所と水谷寿
- (2) 明治仏教史研究の高まり
- (3) 兩派の宗史編纂事業
- (4) 借財償却問題
- (5) 家臣団解体の過程
- (6) 公選議会開設をめぐる動向
- (7) 明治新政府との関係

史料

「明治維新以後に於ける大谷派宗政の変遷」水谷寿(一)～(完)
『真宗』三七二～三九〇号(一九三二年十月～一九三四年四月)

第二部 石川舜台とアジア布教

解説

- (1) 石川舜台に関する伝記類
- (2) 石川舜台の経歴
- (3) 第一次宗政期の事蹟
- (4) 第二次宗政期の事蹟
- (5) 石川宗政と史料の検討
- (6) 石川舜台の面影

史料

- (1) 光瑩伯の思出 石川舜台翁談
- (一九三三年二月十日付『中外日報』)

- (2) 光瑩伯の思出(承前)(洋行の時) 石川舜台翁談
- (一九三三年二月十一日付『中外日報』)

- (3) 光瑩伯の思出(承前)(洋行の時) (二) 石川舜台翁談
- (一九三三年二月十三日付『中外日報』)

- (4) 光瑩伯の思出(承前)(洋行の時) (三) 石川舜台翁談
- (一九三三年二月十五日付『中外日報』)

- (5) 明治仏教秘史① 石川舜台翁談
- (一九三三年三月二日付『中外日報』)

- (6) 明治仏教秘史② 石川舜台翁談
- (一九三三年三月二日付『中外日報』)

- (7) 明治仏教秘史③ 石川舜台翁談
- (一九三三年三月二日付『中外日報』)

- (8) 明治仏教秘史④ 石川舜台翁談
- (一九三三年三月二日付『中外日報』)

- (9) 明治仏教秘史を読んで 上原芳太郎
- (一九三三年三月二日付『中外日報』)

第三部 教団改革運動への胎動

解説

- (1) 改革趣意書の発表
- (2) 尾州得明会と改革運動の拡大
- (3) 改革運動のその後

史料

- (1) 大谷派本願寺事務改革趣意書

- ◆著者略歴
一九六一年生まれ
龍谷大学文学部歴史学科(仏教史学専攻)教授
主な業績
『植民地台湾と日本仏教』(三人社、二〇一六年)『令知会と明治仏教』(共編、不二出版、二〇一七年)『近代西本願寺を支えた在家信者―評伝松田甚左衛門』(法藏館、二〇一七年)
『仏教英書伝道のあけぼの』(共編、法藏館、二〇一八年)
- ◆愛国新報第八十六号附録広告
(2) 真宗大谷派の改革党の旨趣
(一九九一年二月二十日付『明教新誌』)
(3) 『欧米之仏教』第五編(抄録)
(一九九一年七月二日発行)
(4) 『欧米之仏教』第六編(抄録)
(一九九一年八月三十日発行)
(5) 大谷派本願寺改革党の運動
(一九九一年十一月二日付『明教新誌』)

あとがき

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
中西直樹編著 明治前期の大谷派教団 龍谷叢書44	
ISBN: 978-4-8318-5554-1 C3021	法藏館 本体二、八〇〇円十税
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

真宗史